

コスモス

水保通信

第 34 号
水保まちづくり・広報部
平成16年1月31日発行

新年のご挨拶

水保町自治会長
今井喜彦

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご壮健で新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

平素は自治会活動の諸般に渡りまして、あたたかいご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

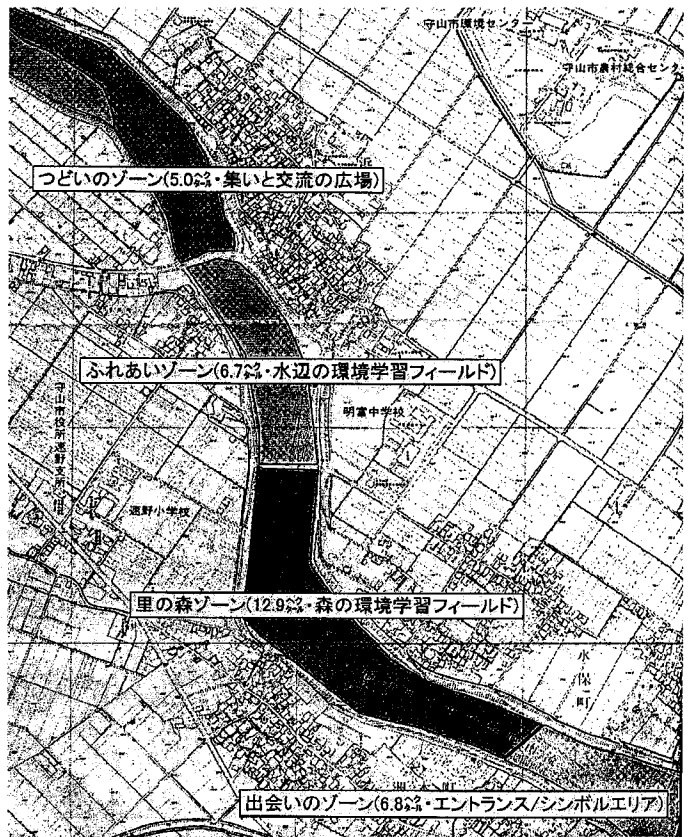
さて、一昨年発足した「めだかクラブ」の活動や、昨年度からの変質者から子供達を守るために設置しました地域安全指導会に対しましては、多くの皆様のご協力やご苦勞をいただき厚く御礼申し上げます。特に地域の子供は地域で守ろうと最初は約十人で始めた安全委員会につきましては、毎日の事であり心配致しておりましたがPTAの方々をはじめ多くの方がボランティア活動としてご賛同をいただき、今では月に一回の当番で子供達の安全が確保されるとともに、子供達とのコミュニケーションもとれ本当に喜ばしい事と存じております。

一方、皆様に変な心配をおかけいたしております「地球市民の森」整備にかかるふれあいゾーンの工事の状況については、今日まで説明不足で申し訳ありませんでした。

こうした中で最近、通学路の南側（里の森ゾーン）は今ある堤防が残る、既に工事内容が決まっている等の噂や想像が出ておりますので、先日自治会協議員会の場に、守山市の国県対策課の方をお招きし、滋賀県の整備計画を確認したところ、現在通学路の北側の築山は公園の通路として通学路を吊り橋で跨ぐ形で計画されているとのこと、また通学路の南側の里の森ゾーンの区域はまだ具体的な設計はできていないとの事でした。この区域の工事が始まる迄には必ず地元に対し、計画の説明や協議の場が持たれるとの事でありました。今後は、進捗状況をその都度ご報告させていただきたいと存じます。

なお、全体の整備計画の動きとしては、つどいのゾーン（旧今浜橋下流）は終っており、ふれあいゾーン（今浜橋～水保通学路）は現在工事中で平成十六年度中に完成予定、更に出合いのゾーン（国道477号線旧列系図橋～国道477号線バイパス予定地）は、本年中に地元協議をし、平成十七、十八年度中に完成予定です。その後、里の森ゾーン（水保通学路～国道477号線バイパス予定地）である通学路の南側の工事を平成十九～二十一年に行い、二十二年には全国緑化フェアを行うといった計画の様であります。

こうした中で、私共といたしましては通学路周辺の築山や堤防と天神橋の一日も早い撤去を求め平地化を図る要望や、吊り橋の再検討、更には通学路近くに管理棟など人がいる施設の設置要望を、特に地域安全指導会の皆様のご苦勞を伝えながら水保だけでなく速野学区の自治会長会を通じ、再度学区要望として市や県の方へ強く要望をし、子供たちが安全に通学できる、安全な町づくりのために努力したいと思っておりますので皆様の変らぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



◎ 健康レシピ ◎

きのこねぎの中華風スープ

材料名	8人分 (g)	
生しいたけ	120g	① しいたけは軸を除いて薄切りに、えのきたけは2cm長さに切る。マロニーは調理用はさみで4~5cmの長さに切る。
えのきたけ	120g	
ねぎ	16g	
マロニー	40g	
水	1200cc	② 鍋に水とブイヨンと煮立て、4~5分煮る。
固形7分豆	10g(2個)	
片栗粉	16g	③ 水溶き片栗粉を加えてとろみをつけ、醤油とごま油をたらして火を消す。
水	60cc	
濃口醤油	8cc	
ごま油	少量	④ きざんだネギを入れる。

まちづくり推進会議 産業部会からのお知らせ

農業を取り巻く環境は、大きくは米の過剰生産や輸入米による米価の下落、転作制度の見直し、身近なものでは農業経営者の高齢化と機械の老朽化といった問題など、年々厳しくなっています。

水保町としまして、町民皆様方と色々な意見を出し合い、より良い方向への改善を考えて行きたいと思っております。

つきましては、2月に農業に関するアンケート調査を実施させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが皆様方のご協力の程よろしくお願いいたします。

☆☆-めだかクラブ活動報告-☆☆

めだかクラブも発足2年目を迎えました。今年度もまた、たくさんのご支援のもとに新しいめだかクラブが動き始めました。

さて、近々の活動報告をさせていただきます。昨年11月8日に樹下神社にて、子供達と大きな釜を使って芋汁、御飯を炊いて屋外作業を実施しました。幸い当日は天気恵まれ子供達は大喜びでした。12月13日、子供達と共にニュースポーツで汗を流し半日をすごしました。

今年に入りまして1月24日、子供達と凧作り、凧上げを実施しました。この日は、凧上げに快適な日でした。まだまだ、めだかクラブの活動は続きます。2月14日野鳥観察、2月28日おやつ作り、3月13日集団遊びを計画しております。

町民の皆様のご参加もよろしくお願いいたします。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新成人の皆さんおめでとうございます

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 市田 良平(進) | 市田 梢(新一) | 今井 健太(道雄) | 今井あゆみ(久夫) |
| 今井 慎也(政明) | 今井 美穂(米二) | 清田 翔吾(武志) | 今井美由紀(重昭) |
| 小山 大輔(俊彦) | 西村阿寿香(隆) | 小山 貴之(知一) | 西村加奈子(昇三) |
| 藤原 英助(昭彦) | 西村 美季(雅行) | 西村 知華(雅行) | 村井 裕志(源一) |

敬称略

シリーズ 速野の自然

水と緑の自然環境に触れあう公園「みさき自然公園」

昭和20年代から30年代の前半と現在の守山市の地形図を比べてみると守山市の湖辺地域の大きな変貌に気づく。なかでも目立っているのは速野学区の琵琶湖岸木浜地域の埋立地である。

昭和30年代半ばの高度経済成長の波が押し寄せる中で、県の開発公社は昭和37年(1962年)から昭和41年(1966年)にかけて、木浜地先の琵琶湖岸を住宅・観光等の用地として利用する目的で埋立て工事を行った。

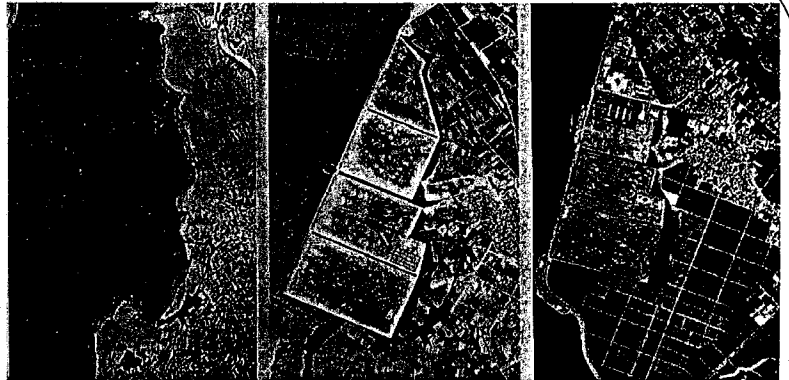
埋立地には3本の放水路、旧湖岸と埋立地の間に承水溝が設けられている。また、埋立地南端には、湖岸道路の建設とともに大きな水域をもつ釣り堀も造られている。現在これらの水域は周辺の観光施設とともに人工的な「木浜内湖」として多くの人たちに親しまれている。

しかしながら、現在の内湖は人為的な内湖であるため、埋立地の琵琶湖岸や放水路の岸辺は直立のコンクリート護岸になっていて、水質の自浄作用の低下にともなう水環境の悪化や、水生動植物や水辺のいろいろな生き物の減少などの生物環境の変化にも数々の課題を投げかけている。もともと木浜地区には「ギロ」とよばれる内湖やその内湖につらなる「ホリ」とよばれる水路が多くあり、これらは地元の住民にとって大切な水環境として人々の生活とともに共存してきた。水辺に繁茂するヨシなどの水生植物は水質の自浄作用を果たすとともに、多くの魚類や鳥類などのすみかとして生き物環境をはぐくんできたのである。

現在、滋賀県が提唱している「琵琶湖総合保全整備計画・マザーレイク21計画(1999年~2020年)」では、水質保全、自然的環境・景観保全を旗印に、かつての琵琶湖岸の豊かな自然環境を取り戻すべくその取組が全県的に始動しつつある。その第一歩の踏み出しがこの木浜地域から始まっているとよい。木浜地域では「木浜内湖の再生」、「湖岸の再生」を柱立てに取組がなされている。

この取組は地域住民、企業、行政のパートナーシップをもとに推進される事業であり、平成12年には、地元では「地域の生活と共存した水辺づくり~緑なす水辺とコノハマボテジャコ・フナ・モロコ~」をキャッチフレーズに「木浜内湖再生フォーラム」が開催され、再生に向けての方向性を探るべく論議が展開されてきた。この地域は守山市や地元速野学区が誇るすばらしい景勝地であり、観光地である。この地域の自然環境が今後どのように豊かに変貌していくか注目されることである。

(美崎公園 パークセンター 中村一雄 記)



優勝おめでとう

去る10月13日(日)守山市民体育館において市民スポーツ大会が行われ、水保チーム(コスモス)がビーチボール一般女子の部において、見事優勝されました。

- | | | |
|----------|-----------|-------|
| <メンバー> | <対戦結果> | |
| 市田 弥生 | 1回戦. 欲賀 | -水保 2 |
| 小山 直美 | 1 | 2 |
| 下村 恵弥子 | 2回戦. 立入 | -水保 2 |
| 西村 公美 | 0 | 2 |
| 藤田 直美 | 3回戦. 美崎B | -水保 2 |
| 吉川 さとみ | 1 | 2 |
| <監督・コーチ> | 決勝戦. 中野小林 | -水保 2 |
| 川隅 紀子 | 1 | 2 |
- 敬称略

水保カレンダー

1月	25	互助会総会
	8	晩会総会
	16	税の申告日
	21	花壇植栽
2月	"	樹下神社大祭(上町)
	"	自治会各町総寄(役員選出)
	"	日の出会総会

☆☆☆広報部会より☆☆☆

本年も、より良い広報作りを目指していきたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

